



廣歯連盟ニュース

HIROSHIRENMEI NEWS

平成27年5月27日
第162号

発行所 広島県歯科医師連盟
広島市中区富士見町11-6
エソール広島820 TEL(082)241-8020
ホームページ http://hpdpf.jp
編集兼発行人 榎田博昭

統一地方選挙推薦候補者結果

受付番号	候補者氏名	所属	選挙種別	選挙区	備考
1	奥原 信也	自由民主党	県議会議員選挙	呉市	19,179票(当)
2	下森 宏昭	自由民主党	県議会議員選挙	三次市	当選(無投票)
3	富永 健三	自由民主党	県議会議員選挙	佐伯区	12,022票(当)
4	安井 裕典	自由民主党	県議会議員選挙	廿日市市	当選(無投票)
5	伊藤 まゆみ	自由民主党	県議会議員選挙	安芸郡	12,897票(当)
6	平田 修己	自由民主党	県議会議員選挙	三原市・世羅郡	当選(無投票)
7	森川 家忠	自由民主党	県議会議員選挙	竹原市・豊田郡	当選(無投票)
8	平谷 祐宏	無所属	尾道市長選挙	尾道市	35,425票(当)
9	松井 一實	無所属	広島市長選挙	広島市	275,773票(当)
10	林 正夫	自由民主党	県議会議員選挙	広島市中区	当選(無投票)
11	中本 隆志	自由民主党	県議会議員選挙	広島市南区	当選(無投票)
12	砂原 克規	自由民主党	県議会議員選挙	広島市西区	21,121票(当)
13	永田 雅紀	自由民主党	広島市議会議員選挙	広島市中区	8,045票(当)
14	中本 弘	自由民主党	広島市議会議員選挙	広島市南区	6,360票(当)
15	山崎 正博	自由民主党	県議会議員選挙	安佐北区	21,384票(当)
16	石橋 林太郎	自由民主党	県議会議員選挙	安佐南区	10,125票(当)
17	狭戸尾 浩	自由民主党	県議会議員選挙	大竹市	当選(無投票)
18	児玉 浩	自由民主党	県議会議員選挙	安芸高田市	当選(無投票)
19	宇田 伸	自由民主党	県議会議員選挙	福山市	23,203票(当)
20	松岡 宏道	自由民主党	県議会議員選挙	福山市	11,502票(当)
21	三好 良治	自由民主党	県議会議員選挙	福山市	14,765票(当)
22	松浦 幸男	自由民主党	県議会議員選挙	尾道市	当選(無投票)
23	岡崎 哲夫	自由民主党	県議会議員選挙	府中市・神石郡	12,867票(当)
24	山野 千佳子	無所属	熊野町議会議員選挙	熊野町	857票(当)

4月12日投開票 統一地方選挙 県歯連盟推薦者 全員当選

4月12日投開票され、広島市長選は現職の松井一實氏(62)が新人4人を退け再選、尾道市長選は現職の平谷祐宏氏(62)が3選を決めた。広島県議選(定数64)は与党・自民党が安定した戦いを見せ現職32人のうち30人が議席を獲得し、引退するベテラン3人の後継を含む推薦候補10人も全員当選した。

広島市中区は林正夫氏(74)、広島市南区は中本隆志氏(56)、広島市西区は砂原克規氏(61)、安佐北区は山崎正博氏(76)、安佐南区は石橋林太郎氏(36)、広島市佐伯区は富永健三氏(65)、呉市は奥原信也氏(72)、福山市は宇田伸氏(58)、松岡宏道氏(59)、三好良治氏(42)、府中市・神石郡は岡崎哲夫氏(59)、安芸郡は伊藤真由美氏(51)、竹原市・豊田郡は森川家忠氏(53)、三原市・世羅郡は平田修己氏(75)、尾道市は松浦幸男氏(59)、南区は中本弘氏(59)、三次市は下森正夫氏(84)が当選し、県歯連盟が推薦した候補者は全て当選した。

熊野町議選(定数16)は山野千佳子氏(72)が当選した。

第64回 県歯連盟評議員会

職域代表、砂川稔氏承認される

3月28日(土)午後4時、県歯会館6階「ハーモニホール」に於いて標記評議員会が開催された。荒川信介会長から昨年末の衆議院選総括、参議院選に向けての対応について挨拶があり、報告事項・議事事項・協議事項について議論がなされ、すべて可決承認、砂川稔氏の第24回参議院議員比例代表選挙候補者の推薦について、県歯連盟評議員会で承認された。

氏名点呼の後、前谷照男副会長の開会の辞に続き、開会が宣告された。

議事録署名者の指名では濱和洋(福山)評議員、沢村豊(安芸)評議員が指名された。

続いて荒川信介会長より「昨年末の衆議院選挙に於きましては推薦した議員の先生すべて先生方のご協力のお蔭で当選となりました。感謝申し上げます。」

先日、国会議員の先生と面談の機会があり、12月の選挙では自民党が圧勝し政権をとることになったが、過去のマイナスイノベーションの時、歯科が1200億円のうち700億円を被ってしまつたと説明し、もし診療報酬改定があるときは、そのことを頭に入れて対処していただきたいと要請した。連盟の政治力が問われるということである。



荒川信介県歯連盟会長

また国保組合においては、国庫補助率を下げるというのですが、民主党政権時代は0%まで下げるといふこともあったが、一応13%でとどまつた。これもやはり政治力だと思ふ。広島県歯科医師国保組合においては収入調査では薬剤師に抜かれて3番目、204万円というところで、これを計算式に当てはめると5年後より始まり、平成32年には20%まで下がることになりそう。今6億円ありますが、3分の1の2億円、減ることになりそう。また日歯連盟123回臨時総会では、千葉県歯科医師連盟会長の砂川稔氏が次期職域代表参議院選候補者に決定

第1号議案

平成27年度 事業計画

1. 基本方針

昨年末に施行された第47回衆議院議員総選挙は、自民党・公明党の連立与党で326議席を獲得し、総議席の3分の2以上を占め長期政権を担う様相を呈した。

「アベノミクス」を初めとする2年間の安倍内閣の実績が信任されることに他ならないが、軽減税率の導入や租税特別措置法の存続は、我々医療界にとっても重要なことであり、できる限りのロビー活動を行うと共に今後もその成り行きに注視していかなくてはならない。

本年は4月には第18回統一地方選挙が実施される。10道県の県知事選挙、5政令市の市長選挙、41道府県議会議員選挙、17政令指定都市の市議会議員選挙が実施されるが、広島県においては、県議会並びに首長・市議会議員選挙が予定されている。いずれも歯科医療保健に理解のある候補を支援し、我々の業権を確たるものにしていきたい。更に、来年度の診療報酬改定に備え、連盟活動は必要不可欠であることを連盟員にも十分理解をしていただき、連盟活動をより一層活性化していきたいと思っている。その一環として、従来からの支部交付金の支給方法を見直すことも視野に入れている。

また、来年夏に予定されている第24回参議院選挙については、石井みどり議員に続く歯科界職域代表候補である砂川稔氏を全面的に支援していきたい。

本会における新会館建設問題については、プロポーザルにより、ようやく業者を選定することができ、いよいよ新会館建設に向けて加速していくこととなるが、会員のシンボルトワーとして、また、地域歯科保健推進の拠点として相応しい会館建設がなされることを期待している。

2. 事業項目

- (1) 連盟員の相互協力体制の確立と団結力の醸成に関する事項
- (2) 各都市支部並びに選挙区毎の連盟活動に対する支援に関する事項
- (3) 連盟広報活動(連盟ニュース・通信、ホームページ)に関する事項
- (4) 関係機関及び友好団体の医政問題に関する事項
- (5) 日本歯科医師連盟との連絡調整に関する事項
- (6) 各政党職域支部及び職域代表議員広島後援会の事業活動への協力に関する事項
- (7) 推薦国会議員・地方議会議員及び首長選挙における本連盟推薦候補者に対する支援活動に関する事項
- (8) 推薦国会議員・地方議会議員及び首長との連絡調整に関する事項
- (9) デンタルミーティング開催に関する事項
- (10) その他政治的諸問題に関する事項

第6号議案

第24回参議院議員比例代表選挙候補者の推薦及び対応について

連盟規約第13条第5号に基づき、第24回参議院議員比例代表選挙候補者の推薦について、評議員会の承認を求めます。

平成27年3月28日

広島県歯科医師連盟
会長 荒川 信介

日本歯科医師連盟推薦 職域代表候補者

砂川 稔(すなかわ みのる)

【砂川 稔氏 略歴】

氏名 砂川 稔(すなかわ みのる)
生年月日 昭和31年5月21日(58歳)
日本大学歯学部卒業

- 平成3年4月 習志野市歯科医師会理事(4期9年)
- 平成12年4月 習志野市歯科医師会専務理事(1期3年)
- 平成15年4月 習志野市歯科医師会副会長(1期3年)
- 平成18年4月 習志野市歯科医師会監事(1期3年)
- 平成15年4月 千葉県歯科医師連盟理事(1期3年)
- 平成18年4月 千葉県歯科医師連盟理事長(1期3年)
- 平成21年4月 千葉県歯科医師連盟副会長(1期2年)
- 平成23年4月 千葉県歯科医師連盟会長(～現在)
- 平成23年4月 日本歯科医師連盟常任理事(1期2年3ヶ月)
- 平成25年7月 日本歯科医師連盟副理事長(1期1年、途中退任)



した。本日の5時半からの後援会総会にご出席いただくことになっていく。皆さんと親睦をはかって、砂川氏を知ってもらいたいと思う。

では政治資金についてはグレーなゾーンが多いことから政治資金に詳しい弁護士を雇用してコンプライアンスの遵守に努めて資金運用をするという決定した。本日は来年度の予算、計画の慎重審議をお願いしたい」と挨拶があった。続いて

事業計画案の承認を求める件
第2号議案 平成27年度会費賦課額及び徴収方法を求める件
第3号議案 平成27年度事業収支予算案の承認を求める件
第4号議案 広島県歯科医師連盟関係連規約の一部変更の承認を求める件
第5号議案 統一地方選挙候補者推薦の承認を求める件
第6号議案 第24回参議院議員比例代表選挙候補者の推薦及び対応について

た。第7号議案 その他
執行部、津島隆司理事長から日本歯科医師連盟推薦、砂川稔(すなかわみのる)氏の本県に於いての知名度が低く白紙からの厳しい選挙が予想される。日歯連盟からモリイフレットが送付されると思いますが、家族、従業員に砂川氏の名前の浸透をお願いしたいと要請があった。
続いて、光山武文副会長の閉会の辞で閉会した。

平成26年度

第2回理事会

3月28日(土)県歯会館4階「役員会議室」に於いて、標記理事会が開催された。

光山武文副会長の開会の辞に続き、荒川信介会長より「本日の理事会では、この後行う評議員会での議案等を審議したいと思っております。その後の後援会総会では次期職域代表の砂川稔氏をお呼びし、と親睦を深めて、砂川氏を知って頂き、全力で応援していきたいと思う。我々の任期は7月いっぱいであり、参議院選挙が7月の第4日曜日に投票票ということ、対応出来るよう本会よりも1カ月伸ばしてある。

歯科医師国保の方は、裕福な国保組合は補助率を下げるということで広島県歯科医師国保組合は所得調査した所、平均が

204万円程度で、そのままの措置ですと20%の国庫補助率となり、今までは1/3減少し、2/3に減るということで、石井議員をはじめ医療系の議員の先生方に、歯科については現状は非常に苦しく、それぞれの県の歯科医師国保組合でも9段階の補助率の差があるのをおかしいのではないかと、ということで働きかけをして行こうと思う。厳しい時代ですが、本日の我々連盟の力が今から問われると思う」と挨拶があった。続いて

等全国紙で報道された、日歯連盟の政治資金の問題についての説明があり、適切な運用が為されていると認識しているが、コンプライアンス遵守の観点から、もう一人政治資金に詳しい弁護士を採用したと報告があった。



第2回理事会(3/28)

3月28日(土)午後5時30分より広島県歯科医師会館6階「ハーモニーホール」に於いて、標記総会が開催された。

神原和暢副会長の開会の辞で始まり、荒川信介会長より「広島県歯科医師連盟は、石井みどり広島県後援会・林正夫後援会・ゆざき英彦後援会

が、それぞれ推薦した議員は全て当選したということ、先日東京で国会議員と懇談する会に出席した。安倍政権では聖域なき構造改革ということ、小泉改革と同じことをされては困る。1200億円のうちの700億円、歯科が被ったということを申し上げておいた。ご存知のように介護報酬は2.27%下げるといふことで、このままでは社会保障費も診療報酬を絡めて下げて来るといふ可能性もあり、是非その所の配慮をお願いしておいた。

また、津島隆司理事長の辞任願いが受理され、続いて赤木真一副理事長の代行が承認された。最後に神原和暢副会長の閉会の辞で閉会した。

された事をお喜び申し上げます。1月23日第123回の日本歯科医師連盟の評議員会におきまして正式に来年の参議院選挙の職域代表に決定をして頂きました。

平成26年度広島県歯科医師連盟

石井みどり広島県後援会・林正夫後援会・ゆざき英彦後援会総会

3月28日(土)午後5時30分より広島県歯科医師会館6階「ハーモニーホール」に於いて、標記総会が開催された。

援会の3つの後援会を持つております。本日は、国政・県政のお話を伺った。

また懇親を深めて頂きたいと思つて、この場を設けさせて頂いております。石井みどり参議院議員には、我々歯科の為に日夜国会で働いて頂き、林正夫広島県議会議長、湯崎英彦広島県知事には今回の基金についてはもちろんのこと、健康保険条例についても本場に尽力を頂きご理解を頂戴しております」と挨拶があった。

続いて砂川稔次期参議院議員比例代表選挙日本歯科医師連盟推進候補者より「このようには実は初めてでございます。地元の千葉県でもこういう出迎えはありませぬから初めてで面食らつております。本日は後援会総会が盛会に開催

された事をお喜び申し上げます。1月23日第123回の日本歯科医師連盟の評議員会におきまして正式に来年の参議院選挙の職域代表に決定をして頂きました。



荒川信介県歯連盟会長



砂川稔氏

ました。私もそうなのですが、日本の歯科界も大きく変わる転機だと思っ
ています。もつと言えは
日本自体が戦後最大の
改革がなされる時だと思
います。2017年に消
費税が10%に上
がります。これは景気条
項が外れましたので間違
いなく上がります。20
17年上がった、そし
て2020年には公約と
なっているプライマリ
バランスをゼロにする
という目標に向かって政
府は動きまわっています。
間違った動きで、政府
が占めている社会保障
を何とかしようという動
きが出てくるのは必至
であると思います。

2018年に医療の改
正それから介護医療の改
正、そして5年後に医療
計画の見直しと同時に改
正されます。これはある
意味我々の歯科界へ与
えられた絶好のチャンス
であるし、もしかしたら
ストチャンスかもしれない
と思っております。そ
の2018年には私共の
政策をしっかりと高木執
行部の中で築き上げてい
き、2017年に予算を
上げなければいけません
ので、2016年には政
策を積み上げなければい
けません。その為には来
年の選挙は非常に大事
な選挙だと思っております。
医科は200人からの医
科系の技官がいます。歯
科は実質17人しかおら
ず10倍以上の医療政策
をい事に日本の医療政策

作っているのは医科系技
官が中心となつて作っ
ております。歯科はど
うやって作っているの
か。ここにいらつしや
る石井みどり先生、職
域代表が政策を積み上
げていかなければ出来
ないのです。これは紛
れも無い事実です。そ
れは紛れも無い事実で
す。それは職域代表に
なつた人間の使命だ
と思っております。是非
その仕事をやらせて下
さい。私は石井みどり先
生のようにパンチの聞
いたスピーチは出来ま
せん。石井みどり先生
と比較されるのは非常
に辛いですが、私は見
たとおりの男です。嘘
はつきりしません。真
面目です。約束は絶対
守ります。この3つはク
リアかなと思つてお
ります。医科の方は自
見はなこ氏の出馬が
決まっております。も
うかなり全国を回つて
います。歯科の何倍も
の資金を持って名前
"じみ"ですが活動は
ずっと派手です。負
けないようにこの歯
科界の為に頑張つて
参りますので応援の
程宜しくお願ひ致し
ます。と挨拶があつた。



石井みどり参議院議員

願いをしに行きま
したが、一変に奨
励室という訳には
行きませんので訓
練室という事が出
来ました。奨励
室・訓練室・伺
い室という様に
定めたという様
には3種類あり
ますので、まあ半
歩前進かなと思
つております。厚生
労働省の中に歯
科医師にしまし
ては20名前後い
らっしゃいます
が、この方々が全
国で頑張つてお
られる先生方の
地域歯科医療を
推進する為の良
い政策を立案す
る、そういう立
場に本意になって
頂きたい。先生
方の大きな味
方になり、官
僚に決まればい
けない。官僚
の味方にするの
だと思つていま
す。31日に成
立し、暫定予算
は成り立つと思
います。31日
にぎりぎりあり
ますが、各委員
会各法案は成
立すると思つて
います。とい
うのが近々の
国会の情勢
であります。

国政報告ですので私
がかかわつたところ
のご報告を申し上げ
ます。明るい話と
しては2011年
の8月に厚生労働
省の医政局の中に
歯科口腔保健推
進室が設置され
ました。残念な
が、これが設置
された時は伺
い室として設
置した存在で
した。これを
何とか奨励室
に格上げす
るよう、日本
歯科医師会・
日本歯科医師
連盟として自
民党の国会議
員を結集し、
特に加藤勝
信内閣人事局
長には私
の顔を見
るとまたか
いような顔
をされる位

にとつても市町村
国保に行けば最も
高い率の所に
位置する事にな
ります。従来員
にとつても今
よりはるかに条
件が悪くなる
ようになります。
よく「こ
の間の関係とい
います。これは
全くの逆で誰
もが得しない
という状況に
至ります。歯
科医師国保に
対する補助率
の見直しは断
固として私と
木村義男議員
(元厚生労働
副大臣)だけは
反対を主張し
ております。最
終的には条件
闘争になる
うかと思つて
います。いかに
激減緩和させ
て行くか、補
助率の見直し
14%から32%
、2%ずつの
10段階に分
かれていくこ
とになっていま
す。それに対
しての出来る
限りの激減
緩和を勝ち取
つて行きたい
と同時に、高
齢者に対する
保険事業も今
言われている
数字よりもい
く数字を勝ち
取つて行き
たい。実際に
予算措置が
されるのは18
年度からあり
ます。まだ時
間があります
。出来限りの
交渉をして参
りたいと思つ
ています。県政
に関わる事
でも一つ申し
上げますと、
3月18日に
厚生労働省
の中で地域医
療構想策定の
ガイドライン
に関する検討
会がガイドラ
インが決定
されました
。地域医療
構想を広島
県もこの4月
から策定を
いたします。
少なくとも
策定段階から
歯科医師が
関与して頂
いて、データ
の収集や分
析の共有とい
う所で活躍
頂こうと思

歯科医師国保の定率補
助の問題があります。民
主党政権下で事業仕
分けの中で所得水
準の高い歯科医
師国保組合に
対しての定率補
助の廃止とい
う事が打ち出
されました
。はつきり申
し上げて民主
党の議論中
では連合さん
はこれをすべ
て廃止と申
しやっています
。市町村国保
が出来る前
に同種同業の
人間が正に自
助努力でお互
いを支えあ
つて健康保
険組合をつ
くり運営して
いる訳です。
この解散とい
う事になり
ます。と、国
庫の負担が大
きくなりま
す。そして先
生方

つています。残念な
が、この地域医療
介護相互(推
進)法の中で制
度化された病
床機能制度に
関する検討会
がこの地域医
療構想策定
ガイドライン
の前身の検討
会であった
のですが、こ
の時は残念
ながら病床
規制であろう
という事で
歯科医師会
から委員が
参加して参
りました。し
かし地域医
療でありま
すので、生
活を支える
医療としての
地域住民の
方々へ大き
く貢献されて
いる先生方
の関与とい
う事が当然
あるべきだ
と思つて、こ
のあたりは
厚生労働委
員長であり
ました。水
面下で随分
関わりまし
て、法律の
条文の中に
きちんと盛
り込みまし
た。それは
診療をして
いる学識経
験者から
なる団体
といふこ
とで、これ
は歯科医
と歯科医
師会を指
します。こ
れから先、
地域医療
構想の調整
会議が開
かれる事
になると
思いますが
、特に地
区の歯科
医師会が
大きく関
与してく
まいます。
堂々とこ
のメンバー
に必ず参
画して頂
いてこの
地域医
療構想を
歯科の立
場からご
発言頂
ければと
思いま
す。

私は少なくともこの
8年間先生方の代
表として全力
で働いて参り
ました。これ
からも全力
で働きます。
私が何かを
やる事で先
生方が後
ろ指を指さ
れることが
あつては決
してならな
いと思つて
います。もし
不幸事或いは
そういう事
態

に立ち至つた時
には先ずバ
ッジを外し
ます。先生
方が日々誠
意地域住
民と向き合
つて努力を
されている
。その努力
を無にする
事のないよ
うに参り
ます。どう
ぞこれまで
のご支援ご
指導を心か
らお願い申
し上げて国
政報告とさ
せて頂いま
す。ありが
とございま
す。続いて
林正夫広島
県議会議長
より「こん
ばんは。例
年このよう
に後援会総
会を開催し
て頂き、お
集まり頂
いた事に厚
く御礼申
し上げま
す。早いも
ので32年
お世話にな
りました。そ
の前の2年
間もあり
ますから、
34年間に
亘り先生
方にお世話
になりまし
て現在議長
を8年そ
して全国議
長会を1年
やられて
いたくださ
います。こ
れも本當に
先生方のお
蔭でありま
す。厚く御
礼申し上げます
。選挙は4
月3日から
始まる訳
ですが、今
のこの新聞
紙上でもご
案内のよう
に3名しか
立候補者
が出てお
らず、よ
うやくと
選挙が無
いのでは
ないか。無
投票選挙
にな

3年半程前から
既に国で出
ておられる
方向性とい
うのを約3
年前より知
事の方から
指示が出て
いました。一
部反対する
議員もあり
、そういう
中で決めて
いる訳です
。今後も又
4年間しつ
かりと

緒に車の両輪
として頑張
つて参りたい
と思いま
す。県政報
告はこの後
湯崎知事に
お任せす
るとして、
もう一つは
、4年前の
選挙の前
にも2重
行政の解
消のお手
伝いをし
たいと思
つていま
す。3日
が公示日
であります
。3日の5
時迄に届
出が無い
場合はそ
こで終わ
りという
ことにな
ります。3
日以降に
何がどう
あつても
心配ない
ように準
備はして
あります
。どうい
うことにな
るかは分
かりませ
んが、今
後とも宜
しくお願
い申し上
げます。県
政報告で
あります
が、お蔭
で湯崎
県政は2
期目に入
りました
。以前にも
話しまし
た。以前
にも話し
ました。全
国でも官
僚系知事
はありま
すが、官
僚経験が
10年、民
間でゼロ
から立ち
上げて株
式上場ま
で10年、
こういう
経験を持
たれた知
事という
のは湯崎
知事一人
でございます
。知事が
知事部局
で考へら
れた事を
我々議会
の方へ回
つて来て
それを手
エックす
る機関が
我々で
あります
。現在、人
・街・仕事
・地域統
制とい
うことで
今の安倍
政権が頑
張つてお
られます
。3年半
程前から
既に国で
出ている
方向性
というの
を約3年
前より知
事の方
から指示
が出て
いまし
た。一部
反対す
る議員
もあり
、そう
いう中
で決め
ている
訳です
。今後
も又4
年間し
つかり
と

3年半程前から既に
既に国で出ている
方向性というの
を約3年前より
知事の方から指示
が出ていました。
一部反対する議員
もあり、そういう
中で決めて
いる訳です。
今後とも又4
年間しつかりと

湯崎英彦広島県知事
より、本日は石井
みどり先生、林
正夫先生併せ
まして私の後
援会総会を開
催し、沢山の
先生方にお集
まり頂きました
。本心に
改めて考
えて見ま
すと県

3年半程前から既に
既に国で出ている
方向性というの
を約3年前より
知事の方から指示
が出ていました。
一部反対する議員
もあり、そういう
中で決めて
いる訳です。
今後とも又4
年間しつかりと



林正夫県議会議長

3年半程前から既に
既に国で出ている
方向性というの
を約3年前より
知事の方から指示
が出ていました。
一部反対する議員
もあり、そういう
中で決めて
いる訳です。
今後とも又4
年間しつかりと



湯崎英彦県知事

年度各地でロードマップというものを策定しまして県内111箇所を...

内参議院議員、衆議院議員或いは県議会議員と...

第124回 日歯連盟評議員会

3月20日(金)午後11時より歯科医師会館1階大会議室に於いて...

次に物故会員(平成26年6月1日〜平成27年1月31日までに亡くなられた会員433名)に対し...



高木幹正日歯連盟会長の挨拶

見直すべきところは見直していき、よりコンパクトライアンスに沿った適切な対応を致して参りたいと思っております...

会において高木会長をはじめ理事が立候補し、代議員会において選挙をしてそれが認められると第1回の理事会を開催されて...



日歯連盟評議員会 (3/20)

という案が出ており、私は、これに対して極めて慎重であります。在宅診療は、基本的にはかかりつけ歯科医が行うというのが基本であつて、医療連携において地域全体で支えていくという訳ですから在宅専門にどんどん拡大していく人がきちんとやっていたら、システムに乗れない人、乗ろうとしない人が出れば在宅診療は崩壊してきます。さらに規制改革会議は、公的医療保険がこれ以上伸びないようにすることが狙いです。伸びを抑えるあまり、本当に受けた医療が受けられなくなり、これは、絶対に避けなくてはならないことです。選定療養に入ったら保険には入れられません。選定診療は、公的医療保険の医療費を縮小させる手段に使えないことではないので、何をやるのかという事が極めて重要な事になります。私に与えられた任期は後3か月なので、しっかりと務めさせて頂いて次の執行部にバトンを引き継いで日本歯科医師会の流れに停滞がないように頑張つてまいります」と挨拶があつた。

美衆議院議員、島村大参議院議員の皆さんが公務のため当日は欠席であつた。続いて国会報告に移り、職域代表であり本連盟顧問の石井みどり参議院議員から「医療保険制度改革の法案の中に国保の改革が出ています。歯科医師会組合に対する国庫補助に対する見直し、与党においても審議を致しましたが自民党の部会においては法案には了承致しましたが補助率の見直し等につきましては私は反対しております。最終的には、条件闘争になると思いますがなるべく全国の歯科医師国保の先方に「迷惑をおかけしないように相当程度行えるようにこれからも力を尽くして参ります。私自身も国保組合員であり、ですので、大きく影響するところがあります。全国一律で歯科医療に従事されている方々に取扱いにおいてはおつてはならないという気持ちで取り組んで参ります。今国会は非常に大事な国会でありまして、医療保険改革関連法案において大きく国の役割が地方に移譲されるという概念が出て参ります。県知事が大きな権限を持ち、国の役割が大きくなつて参ります。このことは、全国で政治活動されております先生方の

役割がさらに重くなつていくと思つております。昨日、国による地域医療構想策定ガイドラインの取りまとめが行われ、その中におきまして、歯科医師がきちんと関わるといふ文言が多く出てきております。当初この検討会の前身であった病床機能報告制度に関する検討会において病床規制に関する事で、歯科医師は関係ないといふことで委員を外されておりましたが、後身の地域医療構想策定ガイドライン検討会においては地域医療の枠組みの中で地域において住民の生活を支えることが大きい歯科医療でありますのでこの構想の中には必ず歯科医師は入つていくべきだと強く意見を言い、和田日本歯科医師会副会長に委員としてご参画をして頂きました。今後は、都道府県の歯科医師会も参ることながら地域の歯科医師会がこの地域医療ビジョンに対して大きな発言権を持ち、そして関わつて参ります。是非、日本歯科医師会をトップとして都道府県の歯科医師会、地区の歯科医師会となつておりますが、地区の歯科医師会が大きな力を発揮する視点で先生方にご指導、ご支援をお願い致します。昨日、日本歯科医師会

において地域医療介護総合確保基金について厚生労働省より説明があり、昨年と同様に医療におきましては904億円、介護におきましては724億円の基金が積まれております。ここに關しましても、ぜひ全国の歯科医師の先生方に歯科医療のシステムを作る為、様々な企画のご提案をお願い出来ればと思つております。27年度の予算案が、今週より参議院で審議されております。今年度中に予算案が挙がるのは、極めて困難な状況です。本日、閣議決定によつて、暫定予算が決定しました。厚生労働委員会に所属する議員と致しましては日切れ法案、日切れ扱い法案が来週の火曜日から衆議院の委員会に成立し参議院に送られてきます。すでに参議院の各委員会が動き出すべく、懇談会等開いております。来週よりそれぞれ常設委員会が動き出すことになつております。最後に、臨時評議員会において私の中央後援会に対する迂回献金問題において様々な事が起こり、政治家として大きなダメージを受けました。しかし、このダメージは、今後新執行部が発足する日本歯科医師会、日本歯科医師連盟そして私共と力を合わせて一体となつて

国民の方々、一昨年の第23回参議院通常選挙において私に投票頂いた国民の方々に「心配をおかけした懸念を払拭し、我が国の歯科医療の発展の為にこれまで以上に三者が一体となつて力を合わせて働いて参り、様々な心配を撥ね退けて参りたいと思つております。全国の先生方から大変なご心配をして頂き、また励ましのお言葉を賜りました。その事を胸に深く刻んで政治家として、参議院議員として決して金銭的な事で全国の先生方に恥じる事のないようにさらに精進して参りたい所存でございます。どうぞ、厳しくも暖かいご指導、ご支援を今後ともお願い申し上げます。国政報告させていただきます。ありがとうございます」との国会報告があつた。

- (1) 会務報告
- (2) 会計報告
- (3) 監査報告
- (1) 第1号議案 日本歯科医師連盟規約、諸規則の改正
- では、終身会員の資格要件を本会に合わせるという提案に關して、75歳以上で35年以上会員であったもの」とすることに関し、年齢要件の引き

- (4) 第4号議案 平成27年度一般会計収支予算
- (5) 第5号議案 平成27年度政治活動運営会計収支予算
- (6) 第6号議案 平成27年度運営基金積立金会計収支予算
- (7) 第7号議案 平成27年度役員退職金積立金会計支出予算
- (8) 第8号議案 次期役員選出

医師連盟(長野県歯科医師連盟) 川野敏樹(大阪府歯科医師連盟) その他、副会長以下の執行役員の出選については、次期会長に一任することが合わせて、承認された。高橋次期会長は「日歯と日歯連盟は車の両輪と言われているが、私は日歯連盟が後輪だと思つている。かじ取りは前輪の日歯が行い、我々は駆動力をもつて(諸課題を)前に押し進める役割を担つている」「日歯としてかり連携し、会員と連盟に所属してよかつたと思える会務運営を目指したい」と語つた。

以上全ての議案は承認可決された。次に協議に入り、公職選挙法の一部改正の年齢18歳への引き下げに対応するために、選挙対策としてどう対応するか、協議していきたいと提起があり、多数意見が出され協議された。

(2) 次期参議院比例代表選挙の対応について その協議の中で、連盟としては選挙については全力で尽力するが、砂川稔候補の母校の日本大学歯学部からの応援も要請しており、日本大学歯学部の同窓会はもとより本



第82回 自由民主党大会

自由民主党は3月8日、ラグランドプリンス新高輪において第82回定期大会を開いた。大会には全国から党員・党友など3,400人が出席し、荒川信介県歯連盟会長が協力者表彰を受賞された。



砂川稔氏

体の日大校友会という全学組織の方も応援を得られるようになってくる。またイメージカラーについても、これから砂川先生の希望なども考えに入れて検討していきたい」と発言があつた。

(3) その他 最後に右田信行副会長の閉会の辞で終了した。

